

平成14年度東北海区海況予報 第2号

平成14年6月12日

独立行政法人水産総合研究センター 東北区水産研究所

<<今後の見通し(2002年6月~2002年8月)>>

- (1) 近海の黒潮北限位置は、平年並み(36°N~36°30'N)で推移する。
- (2) 黒潮系暖水の近海の北限位置は平年並み(39°N~39°30'N)で推移する。
- (3) 黒埼沖の暖水塊は北東へ移動する。常磐近海にある暖水塊は北上する。
常磐沖合にある暖水塊は西に移動する。
- (4) 親潮第1分枝の張り出しは、北偏(41°N付近)で推移する。
親潮第2分枝の張り出しは、平年並み(39°N~39°30'N)で推移する。
- (5) 三陸沖の冷水は南西へ移動する。
- (6) 津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並み(142°30'E~143°E)で推移する。

《海況の経過(2001年2月~2002年4月)の特徴》

- ・ 近海の黒潮の北限位置は平年並みで推移した。
- ・ 黒埼沖と常磐沖に暖水塊が存在した。
- ・ 親潮第1分枝の南限は41°N付近(平年並みから北偏)で停滞していた。
- ・ 一時的に常磐沿岸に暖水塊からの暖水波及があった。
- ・ 表面水温は、北海道沿岸域と沖合で平年より低く、東北沿岸は平年並~高めで推移した。

《現況(2002年5月~6月上旬)の特徴》

- (1) 近海の黒潮の北限位置は、平年並みである。
- (2) 黒潮系暖水の北への張り出しは、近海で平年並みである。
- (3) 暖水塊が黒埼沖(40°30'N、144°40'E)、常磐近海(37°40'N、144°10'E)と常磐沖合(37°30'N、147°E)にある。
- (4) 親潮第1分枝の先端位置(40°40'N)は北偏、親潮第2分枝の張り出し(39°20'N)は平年並み。
- (5) 三陸沖に親潮第2分枝から連なる冷水域があり、常磐沖に向けて冷水が供給されている。
- (6) 津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並み(142°20'E)である。
- (7) 北海道沿岸域の表面水温は急激に上昇し、低温偏差が解消された。

注：経過・現況は図を参照のこと。

(*)は人工衛星情報による。

「近海」は146°E以西、「沖合」は146°E以东を表す。